

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	60 -	事業名	中央図書館事業	担当部課	教育部 中央図書館
------	------	-----	---------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針					
		分野別項目					
		施策の進め方					
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 図書館法に基づく図書館運営に必要な業務。図書資料を収集、整理、保存し、市民に提供する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始めとする図書館利用者 貸出対象は市内在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(日進市、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、名古屋市名東区、守山区)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とし、市民の読書活動が活発になる。					
	事業を構成する事務事業	① 中央図書館運営事業	継続	④			
	② 講座等企画事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	23,520
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	37,199
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	60,719

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 市内利用者の貸出点数	点		目標	290,000	293,000	291,327	296,266	
				実績	293,959	288,443	298,223	314,331	
	B 子ども読書活動推進計画事業の進捗率	%		目標	—	—	60	65	
実績				—	—	60	66		
C			目標						
			実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 長久手市民への個人貸出の貸出総点数

B 子ども読書活動推進計画の各事業の達成状況を割合で示した数値のH26年、H27年度の平均値

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・愛知県内の指定管理者制度の導入率約14%、カウンター業務一部委託導入率約47%「愛知県公立図書館調査2015」より ・文部科学省調査では、全国の市町村1,741のうち、1,261の自治体、約72%が子ども読書活動推進計画を策定済みである。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 市内利用者の貸出点数(市内在住、在学、在勤、在園)は、H27年度は前年度比では約5%増加の結果であり、年間個人貸出点数(市内及び広域を含む全て)は、H27年度は前年度実施で約3%増加の結果だったため、長久手市民の貸出点数の方が総貸出点数よりも上まわる結果となった。また、子ども読書活動推進計画は、H27年度は計画のおよそ66%を達成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 図書館の個人貸出点数は全国的には横ばいであり、近隣市では年々減少傾向にある中で、長久手市はH26年度以降、2年連続で増加している。個人貸出点数の値は全国データ等での判断が必要となる。また、子ども読書活動推進計画では、図書ボランティアによる協力が不可欠なため、ボランティア数の維持と確保が課題である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) H27年度から図書館運営に関する方針に関して図書館運営協議会にて協議を行っている。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	中央図書館事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

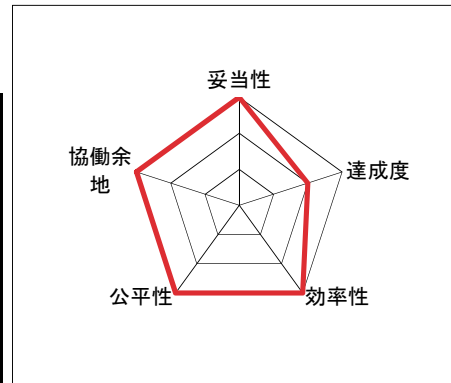
番号	①	事務事業名	中央図書館運営事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を始めとする図書館利用者に対し、図書資料を収集、整理、保存し、提供する。 貸出対象は市内在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(日進市、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、名古屋市名東区、守山区)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とし、市民の読書活動を活発にさせる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				23,079
		決算				23,016

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ブックスタートバック配布者数	人	目標	—	100	200	400	
		実績	—	86	316	348	
図書ボランティア登録者数	人	目標	—	—	50	60	
		実績	—	—	56	73	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
個人貸出点数の増加を図るため、H28年度から新たに導入した障がい者向けバリアフリー資料の増加等、司書による魅力ある選書に努める。また、子ども読書活動推進計画はH30年3月末で第1次計画が終了するため、H29年度に第2次の計画策定を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 中央図書館事業

番号	②	事務事業名	講座等企画事業										
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を始めとする図書館利用者に対し、図書館講座や企画展を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生涯学習の場として市民が図書館を活発に利用するとともに、市民が図書館事業へ参加できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				596
		決算				504

3. 活動推移

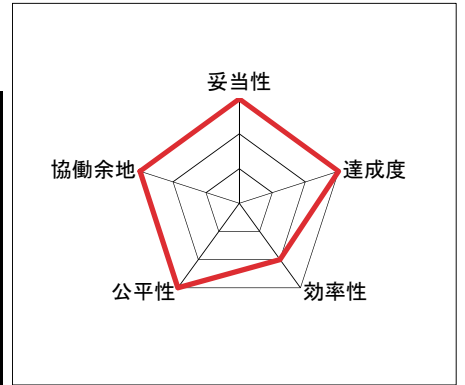
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
講座参加者数	人	目標	—	30	30	30	
		実績	—	34	36	30	
企画展示回数	回	目標	4	5	4	4	
		実績	5	2	4	3	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
図書館修理ボランティアの増加を目指し、中央図書館と連携する市内小中学校及び児童館の図書館修理も増やす。